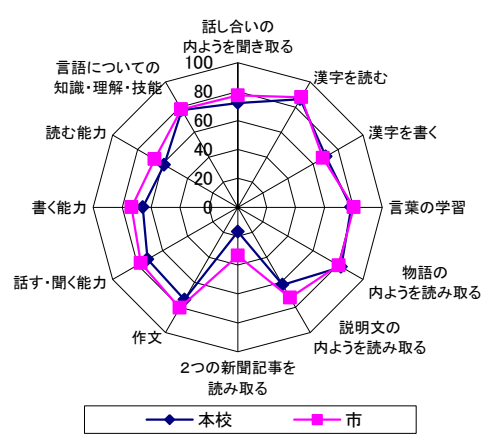


宇都宮市立平石北小学校 第5学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	72.1	77.4
	漢字を読む	86.3	87.9
	漢字を書く	70.3	68.1
	言葉の学習	78.4	80.2
	物語の内ようを読み取る	82.5	80.6
	説明文の内ようを読み取る	61.9	72.3
	2つの新聞記事を読み取る	16.9	33.5
	作文	73.8	80.3
観点別	話す・聞く能力	72.1	77.4
	書く能力	65.8	73.4
	読む能力	58.8	66.4
	言語についての知識・理解・技能	77.5	78.2



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	・平均正答率は、72.1%と市の平均よりも低い。特に、「司会者の工夫を考えながら、話の内容を聞くこと」の問題における正答率が低い。	・これからも相手の話を聞くときに「相手は何を言いたいのか」、「中心となっていることは何か」をしっかりとらえられるように指導していく。具体的には、スピーチの時間をより多く設け、聞いていた児童が意見や質問をする機会も積極的に設けていく。このような実践を継続していくことで聞く力の定着を図っていく。
漢字	・漢字の読み書きの平均正答率は、市の平均とほぼ同じである。特に、「第4学年配当漢字の読み」の問題における正答率が低い。	・漢字の読み書きの力は、少しずつ定着できるよう漢字小テストや漢字練習などの基本的な取り組みをこれからも継続実践させ、さらに児童の取り組みの称賛を行っていく。
言葉の学習	・平均正答率は、78.4%と市の平均より低い。特に、「文脈に沿って漢字を適切に使うこと」の問題における正答率が低い。	・一つ一つの言葉を辞書等を活用し、調べる時間の設定を大切にしていくようにする。また、接続語やことわざ、句読点の打ち方にも重きを置き、指導を行っていく。
物語の内ようを読み取る	・平均正答率は、82.5%と市の平均を上回っている。特に、「登場人物の心情の読み取り」の問題における正答率は低い。	・登場人物の心情、心情の変化、あらすじを正しくとらえられるような学習を展開していく。また、今後も音読の課題や読書の時間の設定、読書記録の活用などの実践を継続していく。
説明文の内ようを読み取る	・平均正答率は、61.9%と市の平均より低い。特に、「段落のまとまりを考えながら読むこと」の問題における正答率が低い。	・説明的文章の読み取りについては、段落ごとに小見出しを付ける工夫を行い、段落相互の関係に着目できる学習を展開していく。そして、筆者が言いたいことは何かをしっかりとらえ、正しく理解できるようにしていく。
2つの新聞記事を読み取る	・平均正答率は、16.9%と市の平均より低い。「二つの文章の共通点・相違点の読み取り」の問題における正答率が低い。	・見出しや小見出しなどのポイントに着目し、それぞれの新聞が何を言いたいのかを正しく理解できるようにしていく。
作文	・平均正答率は、73.8%と市の平均よりも低い。特に、「二段落構成で文章を書く」の部分で低い正答率が見られた。	・行事ごとに、気付いたことや感じたことを作文にしていける実践を継続していく。その際、「伝えたいことは何か」や「書き方の形式」についても合わせて指導していく。また、お世話になった方々へ手紙を書く活動も同様に継続していく。